



2009（平成21）年3月10日

各 位

会社名 生化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 水谷 建  
（コード番号 4548 東証第一部）  
問合せ先 総務部IR・広報室長 鳥居美香子  
（TEL. 03-5220-8950）

## 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2009年度から2011年度までの中期経営計画について、下記のとおり決議しましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 策定の背景および目的

米国の金融不安に端を発する世界経済の混迷は出口が見えず、景気変動に強いといわれている製薬企業にとっても対岸の火事とはいえない状況にあります。こうした厳しい経済環境に加えて、製薬企業間の再編は国内外において依然として衰えを見せず、明確な将来戦略のない企業は生き残りが困難な時代となっています。

このような状況を踏まえて、「長期的に競争力を保ち、かつ、ステークホルダーの皆さまから必要とされる」企業としてのポジショニングを「生化学工業10年ビジョン」として表現します。その第1ステップとして位置づける3年間の中期経営計画は、ビジョン実現に向けた「基礎体力の養成と体制の構築」を目指すものです。

#### 2. 生化学工業10年ビジョン

- コンスタントなペースで新薬（医療機器を含む）を上市し、3年程度に1つ経営の柱となり得る市場を開拓できる実力を涵養する
- 糖質科学に研究開発の焦点を絞って、国際競争力を確立する『グローバル・カテゴリー・ファーマ』として着実な成長を継続する

<10年ビジョンの基本となる考え方>

- ① 糖質科学をリードする研究活動を通じて新薬（医療機器を含む）を開発する
- ② 常に他社を凌駕できる技術開発力を競争の源泉とする
- ③ 参入する全ての市場でトップシェアを目指す

#### 3. 中期経営計画（2009年度～2011年度）

- 10年ビジョンの実現に不可欠な「基礎体力の養成と体制の構築」を行う
- スローガン：GPS（Global, Powerful, Sustainable）  
「自らの現在位置を正しく把握したうえで、将来に向けての正しい方向性を確保していく」

(1) Global : 国境を越えた情報収集・連携・営業活動により事業機会を広げる

- ① 既存製品のドメインを拡大して、収益の最大化により企業基盤を強化する
- ② 内外のネットワークを強化し、常にトップレベルの研究開発・技術力を確保する

(2) Powerful : ビジョンの実現化を可能とする組織力の強化を図る

- ① 品目ごとに研究・開発・製造・マーケティングを統括管理できる体制を構築する
- ② 事業分野ごとに収益管理を徹底し、採算性を向上させる

(3) Sustainable : 社会規範を尊重し、存続意義を認知され続ける企業となる

- ① 時々変化する諸規制を常に咀嚼し、的確に対応できる陣容を整える
- ② 高い倫理感と強い責任感を持って、対外的に透明性を確保しつつ行動する

4. 中期経営計画の数値目標

(1) 2011 年度数値目標

	2011 年度目標	ご参考：2008 年度予想
売上高	305 億円	277 億円
営業利益	60 億円	50 億円

(2) 数値目標を達成するための重要な前提

- ① ヒアルロン酸製剤の市場拡大と更なる成長
- ② プロダクトラインの充実と適切な施策の実行
- ③ 生産管理体制の充実とコストダウン

\* 上記の予想は、現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上

本件に関するお問い合わせは次にお願ひします。

生化学工業株式会社 総務部 I R ・ 広報室

鳥居・田中 TEL. 03-5220-8950